

令和3年度観光事業者支援事業

福商観光アドバイザー相談窓口開設!!

～アフターコロナをビジネスチャンスに!! 今だからこそゼロから新たなチャレンジをはじめよう～

2020年からの新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛や経済活動の抑制により、幅広い業種の中小企業・小規模事業者が厳しい状況に陥っています。本特集は、とりわけ大きな打撃を受けている「観光業界」にスポットを当て、現状と今後観光事業者求められることについてご紹介いたします。

また、福岡商工会議所では、今年度新たに「観光」に特化した専門家による『福商観光アドバイザー制度』を始めますので、あわせてご紹介いたします。

コロナ禍で変化する「現在—いま—」をどう捉え、何をすべきか?

2020年から世界中で拡大している新型コロナウイルス感染症は、様々な業界に大きなダメージをもたらし、特にインバウンドを中心に受け入れを図り、多大な経済波及の恩恵を受けていた福岡市においてもその影響は深刻です。

そのような中、飲食業やアパレル業界では、テイクアウト、コロナ関連グッズ開発などへの業態転換が加速的に進んでいます。

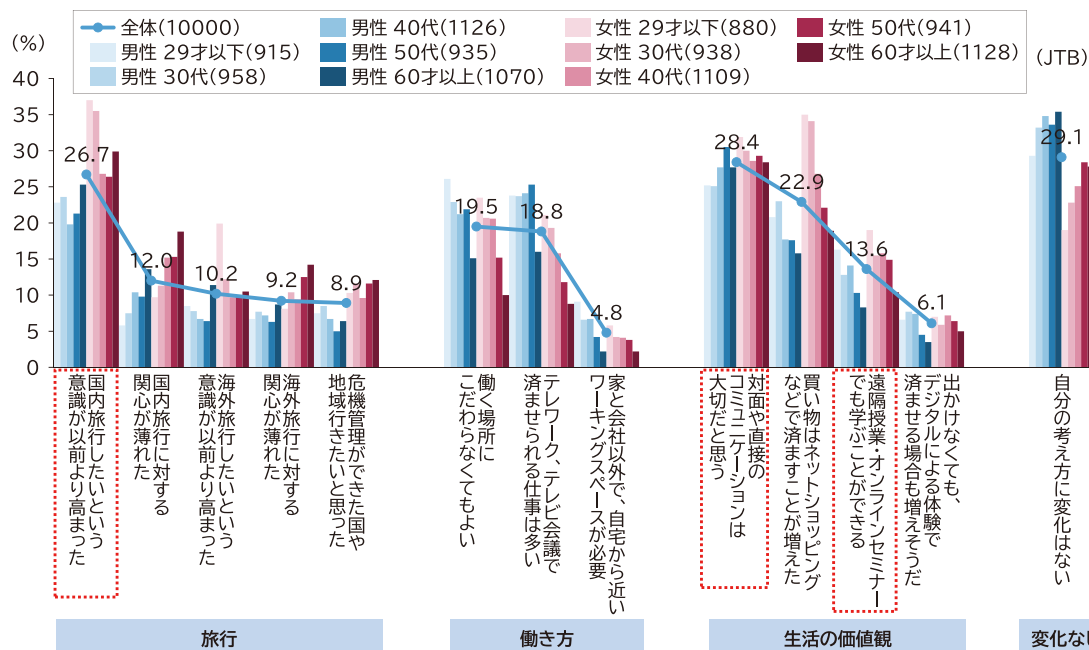
また、観光業界では、国内向けの商品開発や地域素材(着地型コンテンツ)の開発に注力するなど、「マイクロツーリズム」への取り組みにシフトしています。

2020年以降の旅行ニーズやコロナ下での調査データ(図表1)によると、29歳以下の世代の男女及び30代の女性は「以前より国内旅行に行きたいという意識が高まった」という結果になっています。また、「緊急事態宣言解除後にしたいこと※」では、国内旅行が最も高くなっており、コロナ後はまずは、近場への観光が多くなるとみられます。

この他、おうち時間が長くなっている昨年から「旅行」に何を求めるかについて(図表2)、コロナの安全対策を前提として「休養」、「リラックス」、「日常からの解放」が上位となり、近場に旅行に行く際、旅先でのリラックス&日常からの

※出典：ウォーカープラス[KADOKAWA【グラフで見る】緊急事態宣言があげたらやりたいことは?徹底調査2021 (https://www.kadokawa.co.jp/topics/5491)】より

■図表1 新型コロナ影響前と比較した、自分の考え方の変化(性年代別)(複数回答、N=10,000)



出典：株式会社JTB「コロナ禍の生活におけるインターネットやSNSからの“情報”に対する意識と旅行」に関する意識調査

▶国内旅行ニーズが以前より高まった/29歳以下の男女・30代の女性

解放に関する検索が多くなると考えられます。

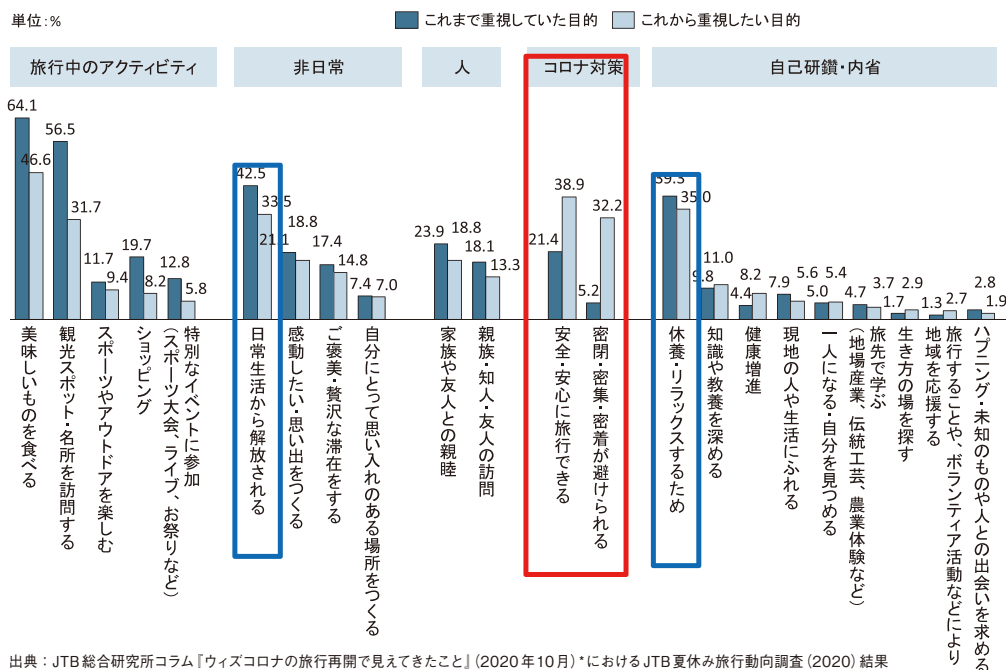
現在、各自治体でも現状の課題抽出と施策、高まるニーズに対応可能な「着地型コンテンツ」の開発などに着手しています。まずは、地域の魅力を『再認識』し、灯台下暗しの

現状を払拭できる県内や近隣地域に向けた魅力発信の施策として、地域内及び外部視点を交えたワーキングなどを行い、各世代・各思考ニーズに沿った国内向け個人旅行者への対応が進んでいます。このように、足元の魅力を見直すことで、地域内事業者の連携が強化され、地域の“点”の魅

力が繋がり、“面”の力で広域回遊を促し、旅行者がゆっくりと時間を過ごすことで経済効果にも期待が持てます。

コロナと向き合い今を準備の期間と捉えることで、まずは国内向けの整備、同時に独自の価値観、グローバル思考を持つ知的好奇心の高い20代向け体験・モデルルートの開発を行うことが重要となります。そうすることで、将来的にインバウンドへの応用も可能となります。

■図表2 コロナ禍前の旅行とコロナ禍での旅行で重視したいことの違い (N=13,024)



出典: JTB 総合研究所コラム『ウィズコロナの旅行再開で見てきたこと』(2020年10月)*におけるJTB夏休み旅行動向調査(2020)結果

福商観光アドバイザーとは

今年度、当所では新たに「福商観光アドバイザー相談窓口」を開設いたします。「九州の観光事業者の相談先として、真っ先に選ばれる存在」を目指し、事業者の方の新たなチャレンジや既存事業の改善などを支援できる、観光業界に精通したコンサルタントや専門家をアドバイザーとして派遣、各地商工会議所・商工会と連携しながら伴走型の支援を行います。

新たに観光事業への参入や取り組みを考えておられる事業者、また、課題を抱え今後の方向性等に悩んでいる方に、経営課題・コンテンツ開発・販路開拓・SNS、キャッシュレス対策など課題に応じて様々な分野のスペシャリストが相談対応いたします。

また、そこで形となったコンテンツや商品等を当所が主催する観光商談会などへお繋ぎすることも可能です。

■福商観光アドバイザーのご紹介 3名の観光アドバイザーが御社の観光に関する課題・お悩みにお応えします!!

**新しい発想で共創力のある
観光づくりを
支援します!**



河崎 靖伸

(かわさき やすのぶ)

株式会社グローバルプロジェクト
代表取締役

【プロフィール】

大手食品メーカー、広告会社を経て2006年JTBコミュニケーションズ九州へ転職。地域活性化、海外プロモーションプロデューサーとして、九州運輸局、九州観光推進機構等の行政関係の着地型観光及びインバウンドを担当。独立後、熊本県、福岡市、沖縄県他の着地型観光マーケティング戦略及び観光マネジメントを中心に観光商品の造成から販売まで一貫した伴走型支援を行う。

**年間180日海外滞在の
現役経営指導者**



別府 美千代

(べっふ みちよ)

株式会社BUSINESS SUPPORT WORLD
代表取締役会長

【プロフィール】

大手販促会社のMD/SP出身。個人業開業から1996年法人化。46都道府県を巡回し、北海道から沖縄までの地域活性、商工業への実施アドバイスを行う。また、コンサル事業が主でなく、実業家として日本に4社、海外3社(台湾2社、カンボジア1社)、資本としては2社の経営に携わる。

**地域の魅力を発掘し、磨いて
求める人に繋ぐ!
マッチングなら
お任せください。**



葛原 利香

(くずはら りか)

+connect.plusdesign+
代表

【プロフィール】

大手旅行会社にて、欧米豪及び台湾・香港などの旅行会社への九州広域モデルルートのご提案や地域の着地素材(コンテンツ)を企画開発～紹介業務に携わる。独立後、九州の観光素材や食文化を海外での展示商談などを通じて、販路拡大と認知訴求、地域誘致における戦略や地域の受入整備などを行う。

本誌P2-3に河崎氏の取材記事を掲載しています!

福商観光アドバイザーができること



私がお答え
します!!

福商観光アドバイザー
葛原 利香氏

《サポート可能な領域》マーケティング、
着地コンテンツ開発、広域回遊施策（事業者・地域連携）、誘致・PR戦略など

事業者の皆さまから相談いただく内容は様々です。たとえば…

- ✓ 土産やご当地産品を販売しているが、コロナ以前に売れていたものが売れなくなった
- ✓ 観光地で飲食店を営んでいるが、コロナの影響もあり観光客が減り困っている
- ✓ 地域で連携して宿泊・体験などの旅行商品を企画販売していたが、コロナ後の国内の動きがよくわからないため、今後誰に向けて何を売ればいいのか迷っている
- ✓ 観光業に新規参入したいが、何をすればいいかわからない

そういったお悩みに対し、私は以下の手順に沿って、地域事業者の強みを最大限引き出すことができる課題解決に向けた取り組みを行います。

ステップ1 現状把握

事業者の商品内容、販促・広報などの取り組みについて、また、これまでの顧客層及びその顧客がどのような点に魅力を感じ購買・来訪していたかについて現状把握を行います。

- 既存商品内容、既存顧客層、販売方法
- 既存ユーザーの来訪・購買ニーズ
- 既存の販促・広報などの取組
- 地域内の観光受け入れ現状

ステップ2 市場分析

コロナの影響による国内の生活ニーズの変化が観光への意欲にどのように影響しているかなど、マーケティングデータに基づき、ステップ1の事業者の現状と照らし合わせます。

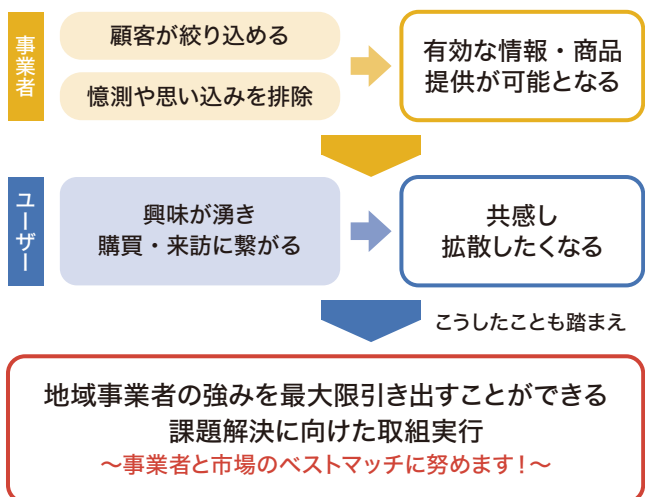
- 安心・安全 万全な感染予防対策
- マイクロツーリズムへのシフト
- 一日常からの解放〜リラックス〜
個人・少人数で楽しめる再発見・DEEPなコンテンツ開発

ステップ3 ペルソナ分析

※ペルソナ＝対象ユーザー

ターゲット設定を変えるべきなのか、憶測や思い込みで決め込んでいる部分はないかなど、具体的な対策に向けて、模索していきます。

■ ペルソナ（対象ユーザー像）を知るメリット



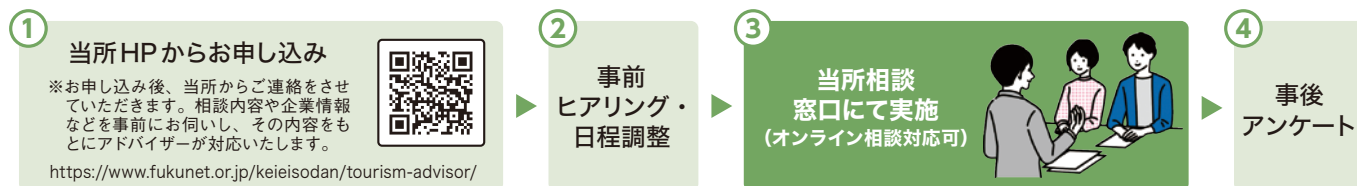
これまでまちづくりや、観光振興計画に携わり、①地域事業者個々がしっかりと「稼げる」こと、②地域内の観光・飲食・販売などの各企業・事業者が、お互いの魅力を知り連携すること、この2つが何よりも重要であることを学びました。そのことで、地域が“元気”になり、より強固な誘致に向けた基盤構築が可能になります。現状は「マイクロツーリズム」へのシフトが進んでいるため、これまでになく「より深く」「新鮮」な情報が求められ、日常からの解放やリラックスにつながる観光資源の開発や情報発信が必要となります。

相談窓口では、「これからどのように進めていけばいいのか?」「何をすべきなのかわからない」といった些細な疑問やお困りごとに対し、一緒に解決策を見つけていきたいと思っています。皆さま、まずはご相談ください。

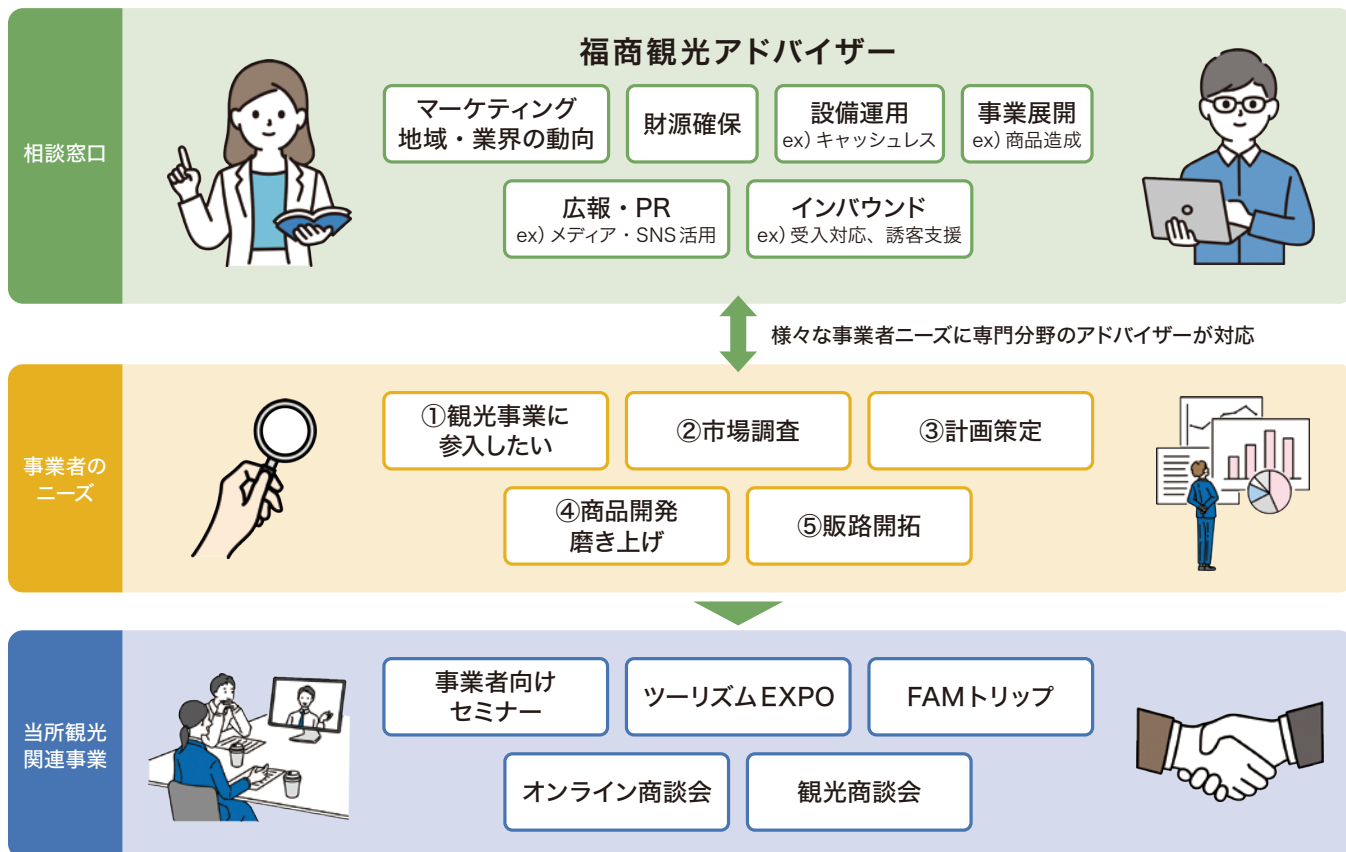
地域事業者である皆さまに寄り添い、お悩みを聞くことで、今の時代、何を課題とし、誰に何をどのようにマッチングしていくべきか、多くのヒントが得られると思います。

ぜひお気軽に相談窓口をご利用ください、お待ちしております。

福商観光アドバイザー相談窓口の利用方法



福商観光アドバイザーと事業者の関わり方



今後の観光事業者支援事業のご案内

■オンラインセミナー アーカイブ配信実施中 (7/20開催)

アフターコロナをビジネスチャンスに! ～今だからこそゼロから 新たなチャレンジをはじめよう～

本セミナーでは、観光アドバイザーの河崎先生、別府先生にご講演いただいております。

本セミナーの開催報告を本誌P9に掲載しています。



■オンライン商談会開催決定

新規取引先の開拓を支援する目的で、以下の3つのテーマで、オンラインを活用した旅行会社等とのB to B商談会を開催いたします。旅行会社や観光メディアなど国内外のバイヤーに対し、自社の商品(人・施設・サービス)を売り込むことができます。奮ってご参加ください!

〈第1弾〉趣味タビ(10月15日(金)開催予定)

〈第2弾〉プレ商談(10月28日(木)、29日(金)開催予定)

〈第3弾〉準備中(11月開催予定)

※詳細が決まり次第、当所HP(右記QR画像)にてご案内いたします
※7月20日時点の情報です

